

## 予 算 要 求 資 料

令和4年度6月補正予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：児童保護費

<b>事業名</b>	<b>【新】児童養護施設等施設整備費補助金 (総合緊急対策分)</b>
------------	---

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 子ども家庭課 養護第一係

電話番号：058-272-1111(内2636)

E-mail：c11217@pref.gifu.lg.jp

**1 事業費 補正要求額** **1,953 千円** (現計予算額：**0 千円**)

**<財源内訳>**

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	1,953	0	0	0	0	0	0	0	1,953
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### 2 要 求 内 容

**(1) 要求の趣旨(現状と課題)**

- ・建設物価建築費指数(工事原価)の上昇  
+6.2%(2022年4月:前年同月比)
- 【出典】一般財団法人 建設物価調査会 総合研究所
- ・建設費の上昇により、整備事業の実施に影響を及ぼすことが想定される。
- ・児童養護施設等の整備を支援することにより、社会的養育の推進を図る。

**(2) 事業内容**

- ・令和4年度児童養護施設等施設整備費補助金の補助対象施設に対する上乗せ補助  
\*建築費指数上昇分(0.062)の1/2

## (3) 県負担・補助率の考え方

補助金の算定方法

建築費高騰相当額 (従来補助額×0.062) × 1/2

県補助率

1/2

## (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,953	上乗せ補助
合計	1,953	

**決定額の考え方**

国に補助単価の増額を要望すべきものであることから、計上を見送ります。

## 4 参考事項

## (1) 各種計画での位置づけ

岐阜県社会的養育推進計画

## (2) 国・他県の状況

国：原油価格・物価高騰対策事業を補正予算で対応

## (3) 後年度の財政負担

建築費用の推移を注視していく。

## (4) 事業主体及びその妥当性

国の対応待ちで実施する事業のため、県が主体として妥当

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	児童養護施設等施設整備費補助金（総合緊急対策分）
補助事業者（団体）	児童養護施設等 （理由） 従来補助金の対象者
補助事業の概要	（目的） 施設整備事業の円滑な推進 （内容） 建築費高騰相当の1/2を補助
補助率・補助単価等	定率 （内容） 従来補助額に対し高騰率を乗じた金額の1/2 （理由） 建築費高騰による影響について、県と事業者で負担することとするため
補助効果	自己資金不足で事業実施不能となることを回避
終期の設定	終期：令和4年度 （理由） 建築費用の推移を注視していく。

(事業目標)

- ・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか  
従来補助金の補助対象事業者が、自己資金不足で事業実施不能となることがないこと

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R3)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①すべての棟が小規模化・地域分散化した乳児院及び児童養護施設の数		5			12	41.7%
②要保護児童数に占めるグループホーム定員の割合		17.4			35.2	49.4%

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"><li>取組内容と成果を記載してください。</li></ul>
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"><li>事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li></ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"><li>事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</li></ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"><li>事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li></ul>	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"><li>事業が直面する課題や改善が必要な事項</li></ul>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"><li>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 国の動向、建築費用の推移を注視していく。</li></ul>
--